



チームLAFT

## TSUNAGREEN (つなグリーン)

—鹿児島の地域課題を、若者の力で解決する—

代表 N高等学校（隈元翔太）

鹿児島公立南高等学校（中尾隼士）

鹿児島公立錦江湾高等学校（佐藤玄貴）

### VISION

鹿児島の未来に、もっと“創る楽しさ”を。

### VALUES

お客様と同じ視点で考え、最適なデザインを届けます  
新しい挑戦を恐れず、変化を楽しみ、進化し続けます  
多様な個性を尊重し、チームで前に進みます  
地方から生まれる創造力で、社会に貢献します  
私たちは、鹿児島をワクワクさせる存在になります



## 01 はじめに

- 鹿児島の地域課題を若者の力で解決するというビジョン
  - TSUNAGREENの目的
    - 後継者不足、若者流出、事業承継危機
  - 想いと価値観でつなぐマッチングという新しい発想
  - この仕組みが生む“鹿児島の未来像”

## 02 課題とインサイト (Problems & Insights)

- 鹿児島の各産業における高齢化と後継者不在の実態
  - 休廃業 564件の現状と経済損失モデル
  - 若者の県外流出データ (RESASなど)
  - 若者意識調査：鹿児島に残りたい層は確実に存在
  - “出会えていない構造” の可視化 (若者・生産者のニーズのズレ)

## 03 サービス構想 (Service Design)

- 数字ではなく“価値観と想い”でつなぐAIマッチング
  - LINE登録（生産者）／MBTI風診断（若者）
  - AIによる相性分析 → 見学・体験・技術継承ステップへ
  - 将来の拡張：EC／クラウド求人／地域データバンク
  - 活動ビジョンと期待できる地域への効果
  - (若者定着、孤立防止、技術継承、関係人口の増加など)

## 04 信頼性と安全性 (Safety & Reliability)

- 多要素認証 (MFA) による不正防止
  - データ暗号化 (AES・TLS)
  - 行動分析AI・Bot対策による異常検知
  - eKYCによる本人確認
  - LINEでの透明なコミュニケーション
  - ミスマッチを防ぐフィードバックループ
  - 高齢者が安心できるトラブルガイドライン

## 05 導入・展開戦略 (Growth Strategy)

- 2026～2028年の3か年スケジュール
    - (開発 → テスト → リリース → EC導入 → 九州展開)
    - 売上計画 (1年目 4,080万円 → 3年後 3.3億円)
    - 収益モデル (生産者月額課金・マッチング料・EC手数料)
    - 差別化ポイント (価値観AI・LINE参加・地域技術特化)
    - 中期経営計画：持続可能な継承モデルへ
    - 三十年後に描く鹿児島の姿とSDGs達成への貢献

# TSUNA GREEN

## MESSAGE

つなグリーンの思い



## 鹿児島の地域課題を 「若者」の力で 解決する

TsunaGreen つなグリーン

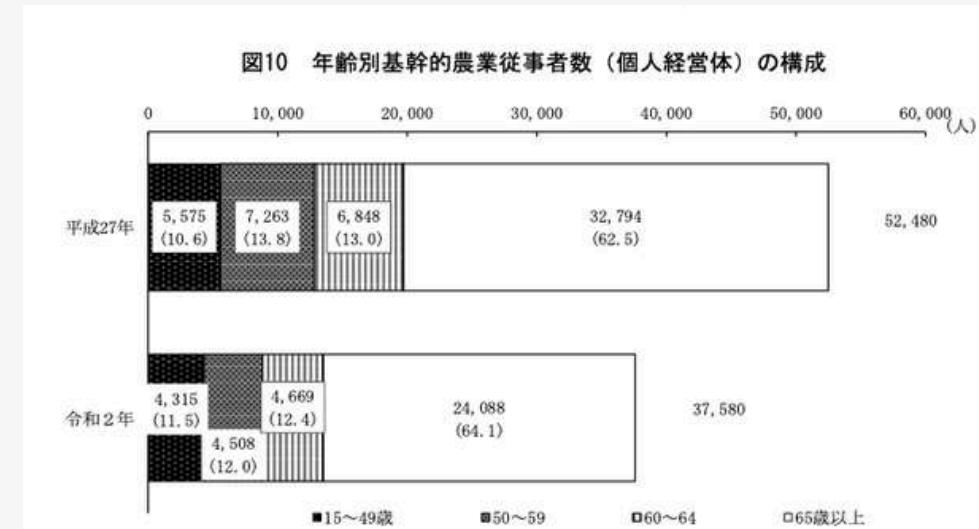
鹿児島では事業承継者不足により、多くの農家や地域産業が将来の担い手を見つからずに困っています。一方で、地域に貢献したい若者はいるものの、出会う機会が圧倒的に不足しています。つなグリーンは、この“出会えない構造”を解消し、想いと力をつなぎ、地域の未来を守るための仕組みです。



鹿児島では後継者不足により、中小企業や農家の廃業リスクが高まっています。これは雇用が減るだけでなく、土地に根付いた技術や文化、歴史が失われることを意味します。一方で、若者と地域産業が出会えない構造が続いており、数十年培われてきたノウハウを次世代へ引き継ぐ仕組みが不足しています。

## 後継者不足に悩む生産者の現状

鹿児島の一次産業では高齢化と人手不足が進行しており、このグラフから分かる通り、農業経営者の約7割が60歳以上を占める一方、後継者未定の経営体が多く、進学や就職を契機とした若者の都市部流出によって、技術や経営ノウハウの継承が十分に行われない構造が続いています。



※令和2年2月1日現在で実施した、2020年農林業センサス農林業経営体調査の確定値を元にしています

## 各業界の平均年齢層

農林水産省から参考



### 農業（農家・主営農者）

若手の参入が少なく、耕作放棄地が急増。地域の農地維持が困難に。

平均年齢67.8歳



### 林業（林業従事者）

高齢化で伐採・整備が滞り、災害リスク（崩落・土砂災害）が上昇。

平均年齢52.4歳



### 水産業・漁業

漁船操縦や加工技術の継承が進まず、地域水産資源の活用が低下。

平均年齢65歳



### 観光業

地域の宿泊・体験事業で若年層の確保が難しく、観光の持続性が危機に。

平均年齢47.3歳

年間	前年比	休廃業・解散 要		休廃業・解散による影響	
		休廃業・解散率	対「倒産」倍率	従業員数	売上高
		(件)	(倍)	合計	合計
2016	540	-	3.15%	7.8	3,002 653
2017	502	▲ 7.0%	2.95%	7.8	762 141
2018	546	+8.8%	3.18%	6.2	913 147
2019	556	+1.8%	3.21%	8.1	755 132
2020年	564	+1.4%	3.28%	10.8	833 156

【注1】休廃業・解散率は、当該年の休廃業・解散件数を前年末時点の企業総数で除して算出している

## 後継者不足による損失と廃業

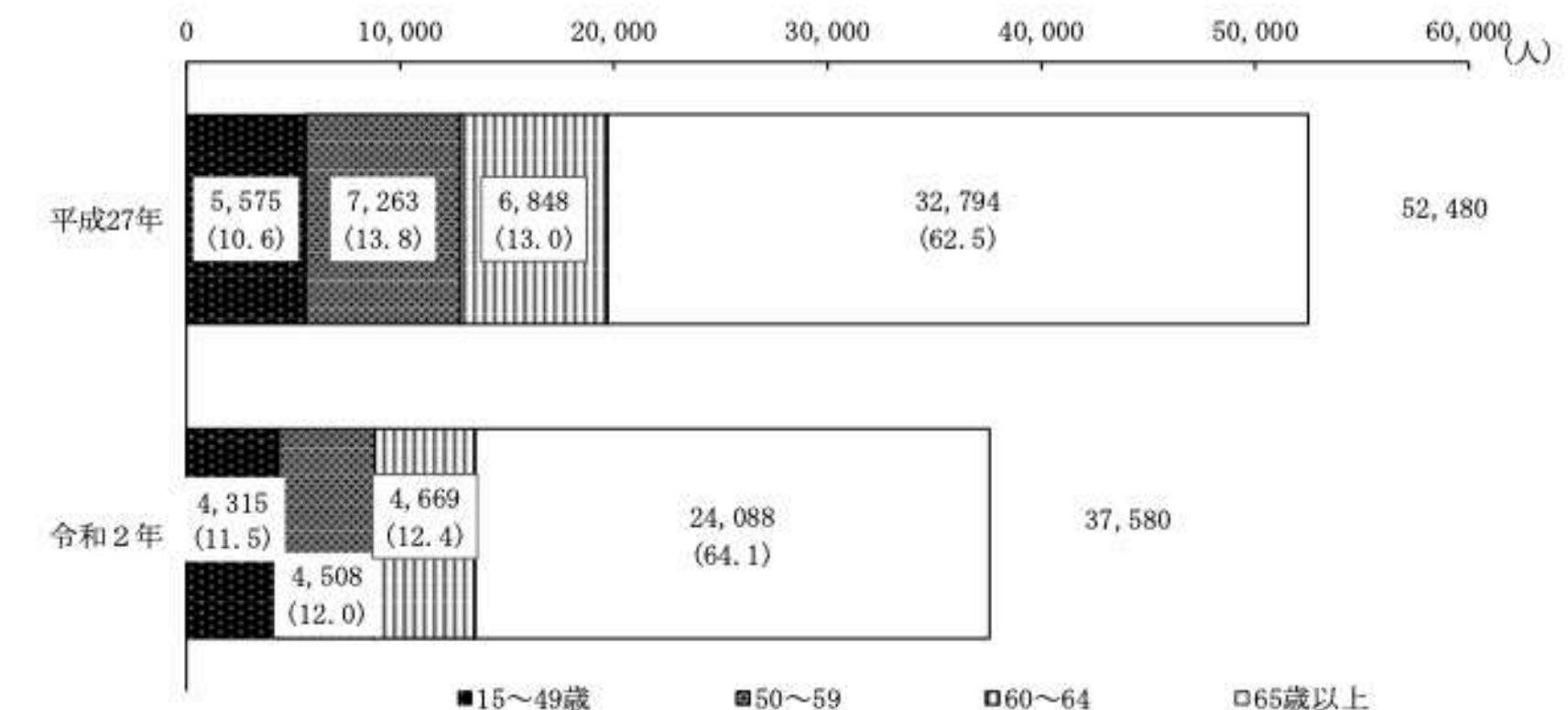
鹿児島県では2020年に564件の企業が休廃業・解散し、その88.2%を代表者年齢60歳以上が占めており、全国でも2023年度に農業分野で77件の倒産・負債総額約142億円が発生するなど、コスト高騰・人手不足・後継者難を背景に、数千戸規模の農業経営体を抱える鹿児島の農業は構造的な継続リスクを抱えています。

参考文献：TSRネット TDB

## 後継者不足に悩む生産者の現状

鹿児島の一次産業では高齢化と人手不足が進行しており、このグラフから分かる通り、農業経営者の約7割が60歳以上を占める一方、後継者未定の経営体が多く、進学や就職を契機とした若者の都市部流出によって、技術や経営ノウハウの継承が十分に行われない構造が続いています。

図10 年齢別基幹的農業従事者数（個人経営体）の構成

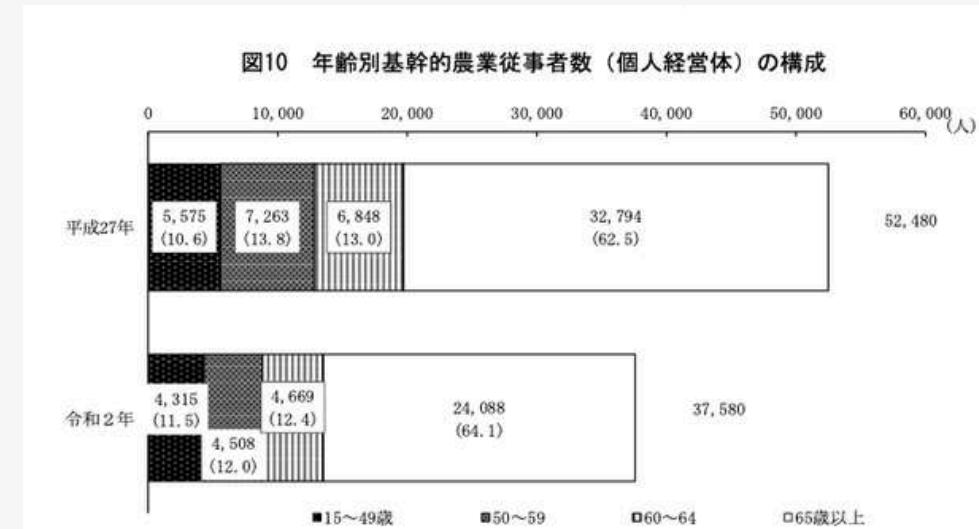


※令和2年2月1日現在で実施した、2020年農林業センサス農林業経営体調査の確定値を元にしています

鹿児島では後継者不足により、中小企業や農家の廃業リスクが高まっています。これは雇用が減るだけでなく、土地に根付いた技術や文化、歴史が失われることを意味します。一方で、若者と地域産業が出会えない構造が続いており、数十年培われてきたノウハウを次世代へ引き継ぐ仕組みが不足しています。

## 後継者不足に悩む生産者の現状

鹿児島の一次産業では高齢化と人手不足が進行しており、このグラフから分かる通り、農業経営者の約7割が60歳以上を占める一方、後継者未定の経営体が多く、進学や就職を契機とした若者の都市部流出によって、技術や経営ノウハウの継承が十分に行われない構造が続いています。



※令和2年2月1日現在で実施した、2020年農林業センサス農林業経営体調査の確定値を元にしています

## 各業界の平均年齢層

農林水産省から参考



### 農業（農家・主営農者）

若手の参入が少なく、耕作放棄地が急増。地域の農地維持が困難に。

平均年齢67.8歳



### 林業（林業従事者）

高齢化で伐採・整備が滞り、災害リスク（崩落・土砂災害）が上昇。

平均年齢52.4歳



### 水産業・漁業

漁船操縦や加工技術の継承が進まず、地域水産資源の活用が低下。

平均年齢65歳



### 観光業

地域の宿泊・体験事業で若年層の確保が難しく、観光の持続性が危機に。

平均年齢47.3歳

年間	前年比	休廃業・解散 要		休廃業・解散による影響	
		休廃業・解散率	対「倒産」倍率	従業員数	売上高
		(件)	(倍)	合計	合計
2016	540	-	3.15%	7.8	3,002 653
2017	502	▲ 7.0%	2.95%	7.8	762 141
2018	546	+8.8%	3.18%	6.2	913 147
2019	556	+1.8%	3.21%	8.1	755 132
2020年	564	+1.4%	3.28%	10.8	833 156

【注1】休廃業・解散率は、当該年の休廃業・解散件数を前年末時点の企業総数で除して算出している

## 後継者不足による損失と廃業

鹿児島県では2020年に564件の企業が休廃業・解散し、その88.2%を代表者年齢60歳以上が占めており、全国でも2023年度に農業分野で77件の倒産・負債総額約142億円が発生するなど、コスト高騰・人手不足・後継者難を背景に、数千戸規模の農業経営体を抱える鹿児島の農業は構造的な継続リスクを抱えています。

参考文献：TSRネット TDB

# 各業界の平均年齢層

農林水産省から参考



## 農業（農家・主営農者）

若手の参入が少なく、  
耕作放棄地が急増。  
地域の農地維持が困難に。

平均年齢67.8歳



## 林業（林業従事者）

高齢化で伐採・整備が滞り、  
災害リスク（崩落・土砂災害）  
が上昇。

平均年齢52.4歳



## 水産業・漁業

漁船操縦や加工技術の  
継承が進まず、  
地域水産資源の活用が低下。

平均年齢65歳



## 観光業

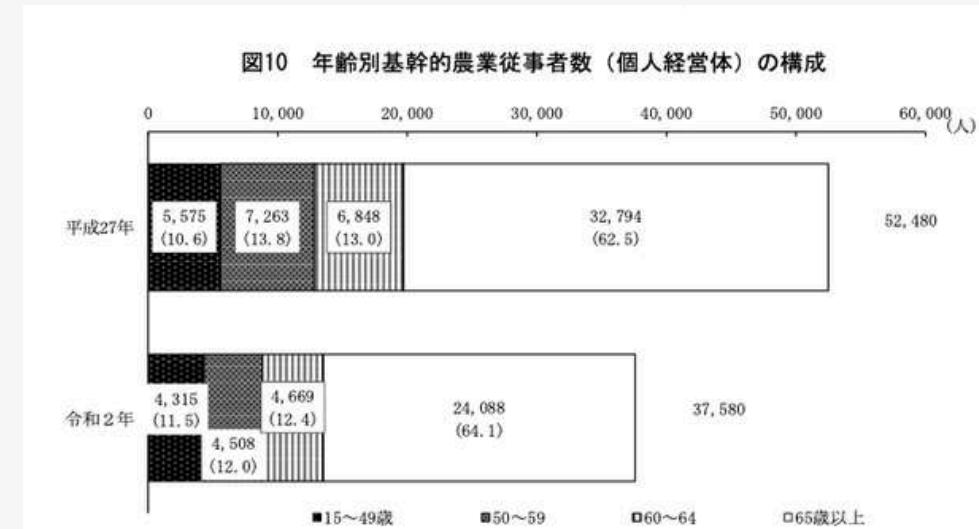
地域の宿泊・体験事業で  
若年層の確保が難しく、  
観光の持続性が危機に。

平均年齢47.3歳

鹿児島では後継者不足により、中小企業や農家の廃業リスクが高まっています。これは雇用が減るだけでなく、土地に根付いた技術や文化、歴史が失われることを意味します。一方で、若者と地域産業が出会えない構造が続いており、数十年培われてきたノウハウを次世代へ引き継ぐ仕組みが不足しています。

## 後継者不足に悩む生産者の現状

鹿児島の一次産業では高齢化と人手不足が進行しており、このグラフから分かる通り、農業経営者の約7割が60歳以上を占める一方、後継者未定の経営体が多く、進学や就職を契機とした若者の都市部流出によって、技術や経営ノウハウの継承が十分に行われない構造が続いています。



※令和2年2月1日現在で実施した、2020年農林業センサス農林業経営体調査の確定値を元にしています

## 各業界の平均年齢層

農林水産省から参考



### 農業（農家・主営農者）

若手の参入が少なく、耕作放棄地が急増。地域の農地維持が困難に。

平均年齢67.8歳



### 林業（林業従事者）

高齢化で伐採・整備が滞り、災害リスク（崩落・土砂災害）が上昇。

平均年齢52.4歳



### 水産業・漁業

漁船操縦や加工技術の継承が進まず、地域水産資源の活用が低下。

平均年齢65歳



### 観光業

地域の宿泊・体験事業で若年層の確保が難しく、観光の持続性が危機に。

平均年齢47.3歳

年間	前年比	休廃業・解散 要		休廃業・解散による影響	
		休廃業・解散率	対「倒産」倍率	従業員数	売上高
		(件)	(倍)	合計	合計
2016	540	-	3.15%	7.8	3,002 653
2017	502	▲ 7.0%	2.95%	7.8	762 141
2018	546	+8.8%	3.18%	6.2	913 147
2019	556	+1.8%	3.21%	8.1	755 132
2020年	564	+1.4%	3.28%	10.8	833 156

【注1】休廃業・解散率は、当該年の休廃業・解散件数を前年末時点の企業総数で除して算出している

## 後継者不足による損失と廃業

鹿児島県では2020年に564件の企業が休廃業・解散し、その88.2%を代表者年齢60歳以上が占めており、全国でも2023年度に農業分野で77件の倒産・負債総額約142億円が発生するなど、コスト高騰・人手不足・後継者難を背景に、数千戸規模の農業経営体を抱える鹿児島の農業は構造的な継続リスクを抱えています。

参考文献：TSRネット TDB

## 後継者不足による損失と廃業

鹿児島県では2020年に564件の企業が休廃業・解散し、その88.2%を代表者年齢60歳以上が占めており、全国でも2023年度に農業分野で77件の倒産・負債総額約142億円が発生するなど、コスト高騰・人手不足・後継者難を背景に、数千戸規模の農業経営体を抱える鹿児島の農業は構造的な継続リスクを抱えています。

年間	休廃業・解散 件数 (件)	休廃業・解散 詳細			休廃業・解散による影響	
		前年比	休廃業・解散率	対「倒産」倍率	従業員数 合計 (人)	売上高 合計 (億円)
2016	540	-	3.15%	7.8	3,002	653
2017	502	▲7.0%	2.95%	7.8	762	141
2018	546	+8.8%	3.18%	6.2	913	147
2019	556	+1.8%	3.21%	8.1	755	132
2020年	564	+1.4%	3.28%	10.8	883	156

[注1] 休廃業・解散率は、当該年の休廃業・解散件数を前年末時点の企業総数で除して算出している

# 現状の損失と若者の思い

仮に、鹿児島県で休廃業した 564 件の中の 10 % (=56件) が農業・第一次産業関係者だったと仮定し、それらがもし「後継者がいた」場合、毎年黒字を出していたと仮定して平均利益 500 万円を上げていたら、10 年で  $500 \text{ 万円} \times 56 \text{ 件} \times 10 \text{ 年} = 28 \text{ 億円}$  の利益が地域から失われた可能性があります。もちろん、これは仮定を多数置いたモデルですが、エビデンス（休廃業件数 + 農業倒産件数 + 経営体数）を組み合わせることで、鹿児島県における「後継者不在による経済的損失」のスケール感を示す材料になります。

## 仮説損失モデル

鹿児島県で休廃業した 564 件のうち、仮に 10% = 56 件 が農業・第一次産業の事業者だったとする。  
これら 56 件が「後継者さえいれば事業継続し、毎年平均 500 万円の黒字を生んでいた」と仮定すると――

$500 \text{ 万円} \times 56 \text{ 件} \times 10 \text{ 年} = \text{約} 28 \text{ 億円}$

の経済価値が失われたことになります

第一次産業 年間黒字 年数 経済価値損失  
56 件  $\times$  5,000,000 円  $\times$  10 年 = 28 億円



## 若年層の県外転出率

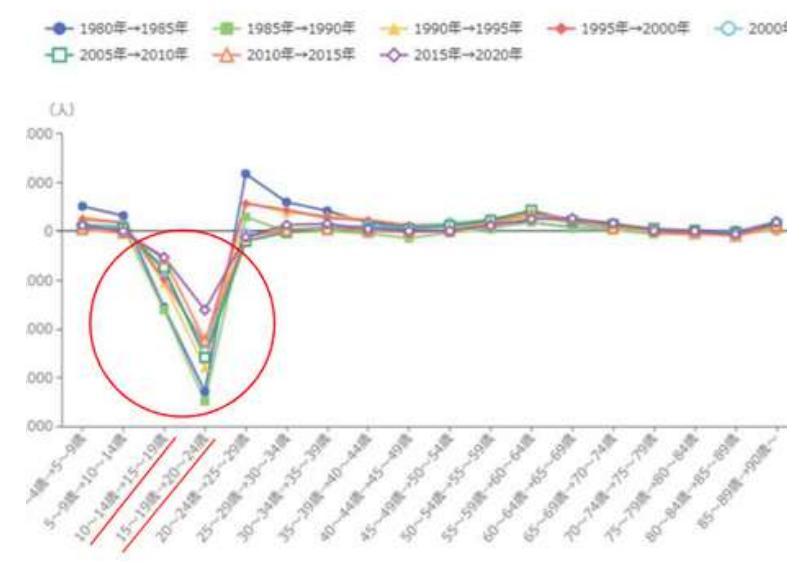
鹿児島県では、高校卒業生の県外就職率が全国と比べて高くなる傾向が見られます。

### 鹿児島県公式サイト

また、地方都市である薩摩川内市では、若年層（30代以下）で年間 611 人の転出超過が報告され、地域から若い人材が出ていく流れが明確になっています。RESAS Portal  
鹿児島市でも、20代の若者が県外に転出する傾向が確認されており、県外の大都市や他県に就職や進学による流出が強い構図があります。

### 鹿児島市公式ウェブサイト

年齢階級別純移動数の時系列分析  
鹿児島県



## 回答件数

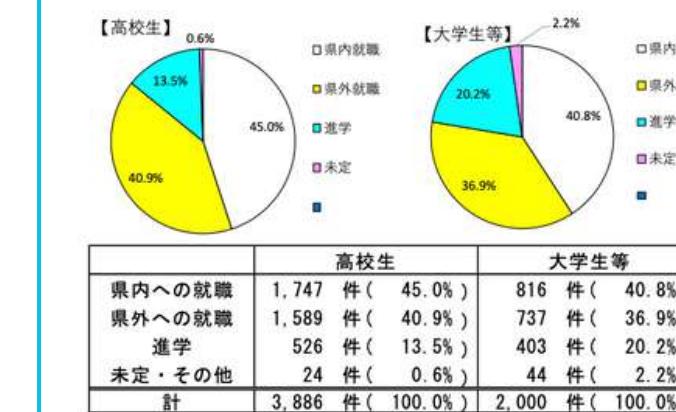
2,188 件

高校生 その他  
969 人 1219 人  
44.3 % 55.7 %

## 若者の気持ち

鹿児島県が実施した「若年層等の県内定着に関する意識調査」や、鹿児島市による高校生から39歳以下を対象としたアンケートでは、「鹿児島が好き」「住み続けたい」「将来戻りたい」と回答する若者が一定数存在することが確認されており、若年層の中に地元定着・地域関与への潜在的意向があることが示されています。

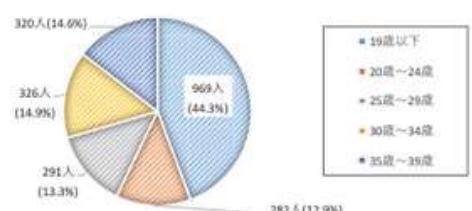
参考文献：鹿児島県公式サイト + 2Bodik Data + 2鹿児島市公式ウェブサイト



回答件数：2,188 件

### 年齢

項目	人數	割合
19歳以下	969	44.3
20歳～24歳	282	12.9
25歳～29歳	291	13.3
30歳～34歳	326	14.9
35歳～39歳	320	14.6
合計	2,188	100.0



## 仮説損失モデル

鹿児島県で休廃業した 564 件のうち、仮に  $10\% = 56$  件 が農業・第一次産業の事業者だったとする。

これら 56 件が「後継者さえいれば事業継続し、毎年平均 500 万円の黒字を生んでいた」と仮定すると――

500 万円  $\times$  56 件  $\times$  10 年 = 約 **28 億 円**

の経済価値が失われたことになります

第一次産業



56 件

年間黒字

5,000,000 円

年数

10 年

経済価値損失

**28 億 円**



# 現状の損失と若者の思い

仮に、鹿児島県で休廃業した 564 件の中の 10 % (=56件) が農業・第一次産業関係者だったと仮定し、それらがもし「後継者がいた」場合、毎年黒字を出していたと仮定して平均利益 500 万円を上げていたら、10 年で  $500 \text{ 万円} \times 56 \text{ 件} \times 10 \text{ 年} = 28 \text{ 億円}$  の利益が地域から失われた可能性があります。もちろん、これは仮定を多数置いたモデルですが、エビデンス（休廃業件数 + 農業倒産件数 + 経営体数）を組み合わせることで、鹿児島県における「後継者不在による経済的損失」のスケール感を示す材料になります。

## 仮説損失モデル

鹿児島県で休廃業した 564 件のうち、仮に 10% = 56 件 が農業・第一次産業の事業者だったとする。  
これら 56 件が「後継者さえいれば事業継続し、毎年平均 500 万円の黒字を生んでいた」と仮定すると――

$500 \text{ 万円} \times 56 \text{ 件} \times 10 \text{ 年} = \text{約} 28 \text{ 億円}$

の経済価値が失われたことになります

第一次産業 年間黒字 年数 経済価値損失  
56 件  $\times$  5,000,000 円  $\times$  10 年 = 28 億円



## 若年層の県外転出率

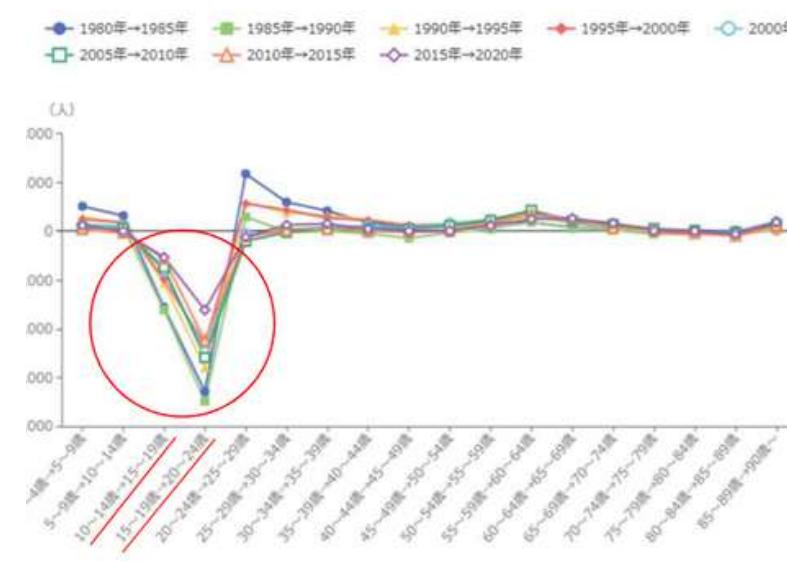
鹿児島県では、高校卒業生の県外就職率が全国と比べて高くなる傾向が見られます。

### 鹿児島県公式サイト

また、地方都市である薩摩川内市では、若年層（30代以下）で年間 611 人の転出超過が報告され、地域から若い人材が出ていく流れが明確になっています。RESAS Portal  
鹿児島市でも、20代の若者が県外に転出する傾向が確認されており、県外の大都市や他県に就職や進学による流出が強い構図があります。

### 鹿児島市公式ウェブサイト

年齢階級別純移動数の時系列分析  
鹿児島県



## 回答件数

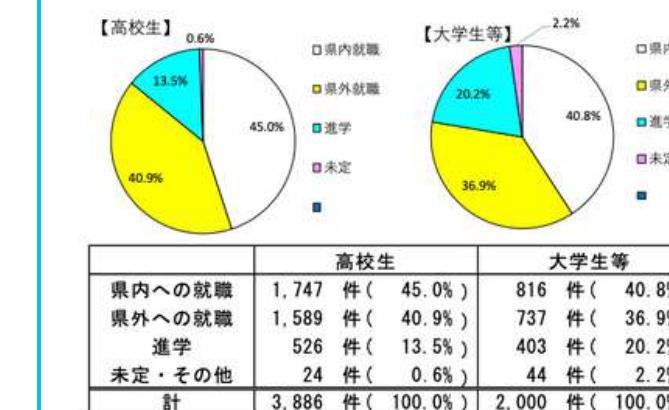
2,188 件

高校生 その他  
969 人 1219 人  
44.3 % 55.7 %

## 若者の気持ち

鹿児島県が実施した「若年層等の県内定着に関する意識調査」や、鹿児島市による高校生から39歳以下を対象としたアンケートでは、「鹿児島が好き」「住み続けたい」「将来戻りたい」と回答する若者が一定数存在することが確認されており、若年層の中に地元定着・地域関与への潜在的意向があることが示されています。

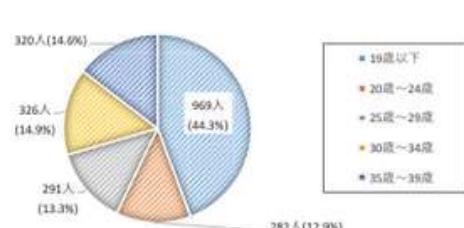
参考文献：鹿児島県公式サイト + 2Bodik Data + 2鹿児島市公式ウェブサイト



回答件数：2,188 件

### 年齢

項目	人數	割合
19歳以下	969	44.3
20歳～24歳	282	12.9
25歳～29歳	291	13.3
30歳～34歳	326	14.9
35歳～39歳	320	14.6
合計	2,188	100.0



## 回答件数

2,188 件

高校生

969 人  
44.3 %

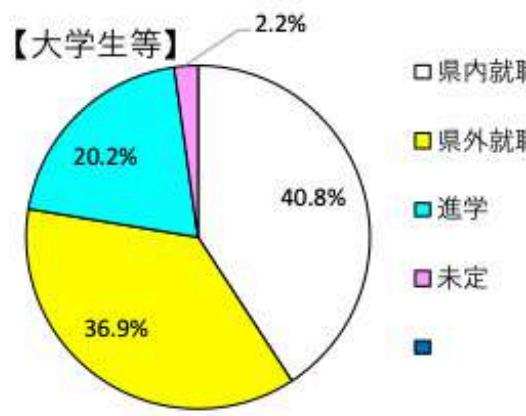
その他

1219 人  
55.7 %

## 若者の気持ち

鹿児島県が実施した「若年層等の県内定着に関する意識調査」や、鹿児島市による高校生から39歳以下を対象としたアンケートでは、「鹿児島が好き」「住み続けたい」「将来戻りたい」と回答する若者が一定数存在することが確認されており、若年層の中に地元定着・地域関与への潜在的意向があることが示されています。

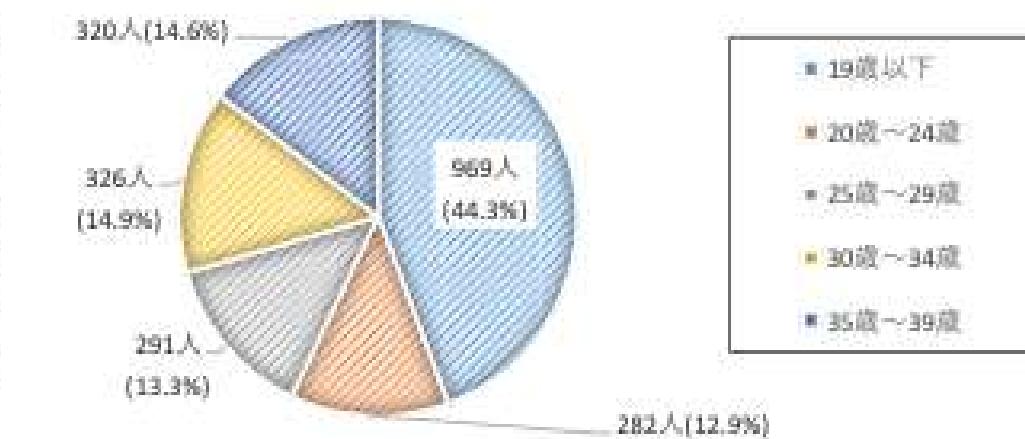
参考文献：[鹿児島県公式サイト](#) + [2Bodik Data](#) + [鹿児島市公式ウェブサイト](#)



回答件数：2,188 件

### ●年齢

項目	人数	割合
19歳以下	969	44.3
20歳～24歳	282	12.9
25歳～29歳	291	13.3
30歳～34歳	326	14.9
35歳～39歳	320	14.6
合計	2,188	100.0



# 現状の損失と若者の思い

仮に、鹿児島県で休廃業した 564 件の中の 10 % (=56件) が農業・第一次産業関係者だったと仮定し、それらがもし「後継者がいた」場合、毎年黒字を出していたと仮定して平均利益 500 万円を上げていたら、10 年で  $500 \text{ 万円} \times 56 \text{ 件} \times 10 \text{ 年} = 28 \text{ 億円}$  の利益が地域から失われた可能性があります。もちろん、これは仮定を多数置いたモデルですが、エビデンス（休廃業件数 + 農業倒産件数 + 経営体数）を組み合わせることで、鹿児島県における「後継者不在による経済的損失」のスケール感を示す材料になります。

## 仮説損失モデル

鹿児島県で休廃業した 564 件のうち、仮に 10% = 56 件 が農業・第一次産業の事業者だったとする。  
これら 56 件が「後継者さえいれば事業継続し、毎年平均 500 万円の黒字を生んでいた」と仮定すると――

$500 \text{ 万円} \times 56 \text{ 件} \times 10 \text{ 年} = \text{約} 28 \text{ 億円}$

の経済価値が失われたことになります

第一次産業 年間黒字 年数 経済価値損失  
56 件  $\times$  5,000,000 円  $\times$  10 年 = 28 億円



## 若年層の県外転出率

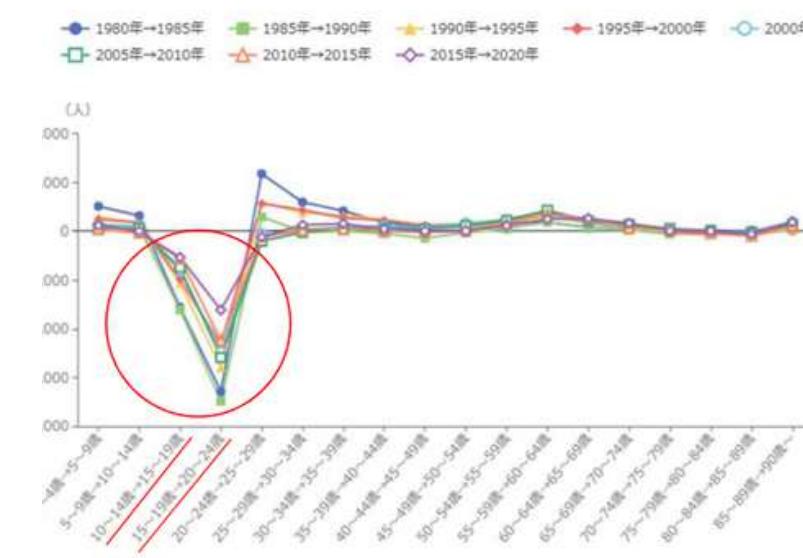
鹿児島県では、高校卒業生の県外就職率が全国と比べて高くなる傾向が見られます。

### 鹿児島県公式サイト

また、地方都市である薩摩川内市では、若年層（30代以下）で年間 611 人の転出超過が報告され、地域から若い人材が出ていく流れが明確になっています。RESAS Portal  
鹿児島市でも、20代の若者が県外に転出する傾向が確認されており、県外の大都市や他県に就職や進学による流出が強い構図があります。

### 鹿児島市公式ウェブサイト

年齢階級別純移動数の時系列分析  
鹿児島県



## 回答件数

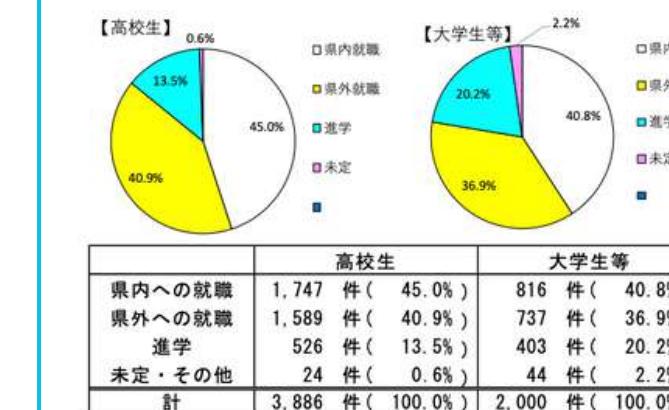
2,188 件

高校生 その他  
969 人 1219 人  
44.3 % 55.7 %

## 若者の気持ち

鹿児島県が実施した「若年層等の県内定着に関する意識調査」や、鹿児島市による高校生から39歳以下を対象としたアンケートでは、「鹿児島が好き」「住み続けたい」「将来戻りたい」と回答する若者が一定数存在することが確認されており、若年層の中に地元定着・地域関与への潜在的意向があることが示されています。

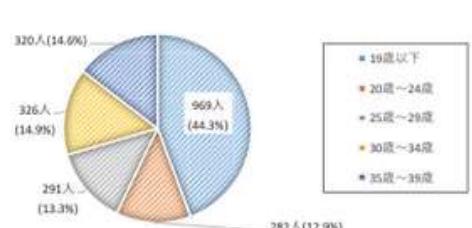
参考文献：鹿児島県公式サイト + 2Bodik Data + 2鹿児島市公式ウェブサイト



回答件数：2,188 件

### 年齢

項目	人數	割合
19歳以下	969	44.3
20歳～24歳	282	12.9
25歳～29歳	291	13.3
30歳～34歳	326	14.9
35歳～39歳	320	14.6
合計	2,188	100.0



## 若年層の県外転出率

鹿児島県では、高校卒業生の県外就職率が全国と比べて高くなる傾向が見られます。

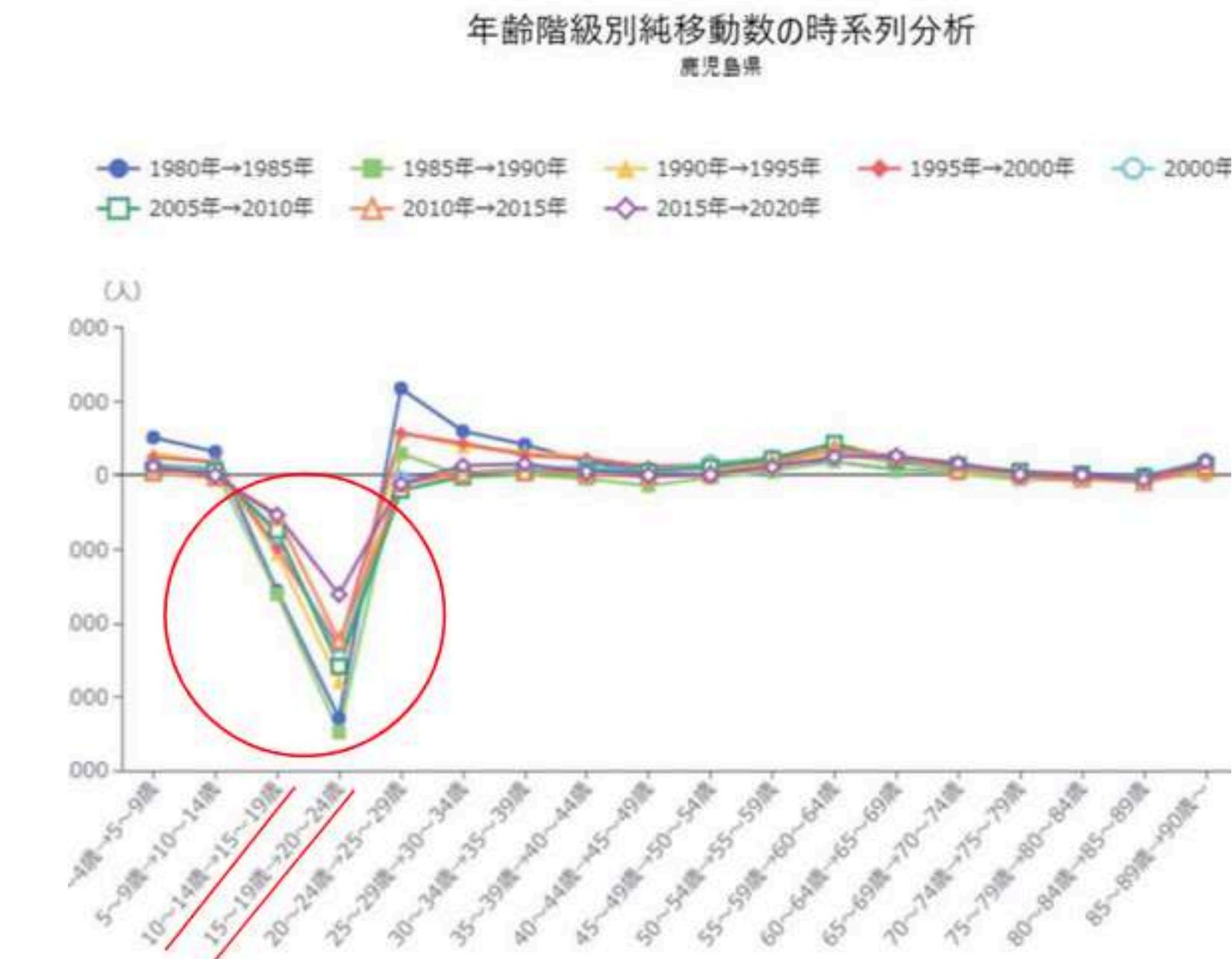
## 鹿児島県公式サイト

また、地方都市である薩摩川内市では、若年層（30代以下）で

年間 611人の転出超過 が報告され、  
地域から若い人材が出ていく流れが明確にな  
っています。 RESAS Portal

鹿児島市でも、20代の若者が県外に転出する傾向が確認されており、県外の大都市や他県に就職や進学による流出が強い構図があります。

## 鹿児島市公式ウェブサイト



# 現状の損失と若者の思い

仮に、鹿児島県で休廃業した 564 件の中の 10 % (=56件) が農業・第一次産業関係者だったと仮定し、それらがもし「後継者がいた」場合、毎年黒字を出していたと仮定して平均利益 500 万円を上げていたら、10 年で  $500 \text{ 万円} \times 56 \text{ 件} \times 10 \text{ 年} = 28 \text{ 億円}$  の利益が地域から失われた可能性があります。もちろん、これは仮定を多数置いたモデルですが、エビデンス（休廃業件数 + 農業倒産件数 + 経営体数）を組み合わせることで、鹿児島県における「後継者不在による経済的損失」のスケール感を示す材料になります。

## 仮説損失モデル

鹿児島県で休廃業した 564 件のうち、仮に 10% = 56 件 が農業・第一次産業の事業者だったとする。  
これら 56 件が「後継者さえいれば事業継続し、毎年平均 500 万円の黒字を生んでいた」と仮定すると――

$500 \text{ 万円} \times 56 \text{ 件} \times 10 \text{ 年} = \text{約} 28 \text{ 億円}$

の経済価値が失われたことになります

第一次産業 年間黒字 年数 経済価値損失  
56 件  $\times$  5,000,000 円  $\times$  10 年 = 28 億円



## 若年層の県外転出率

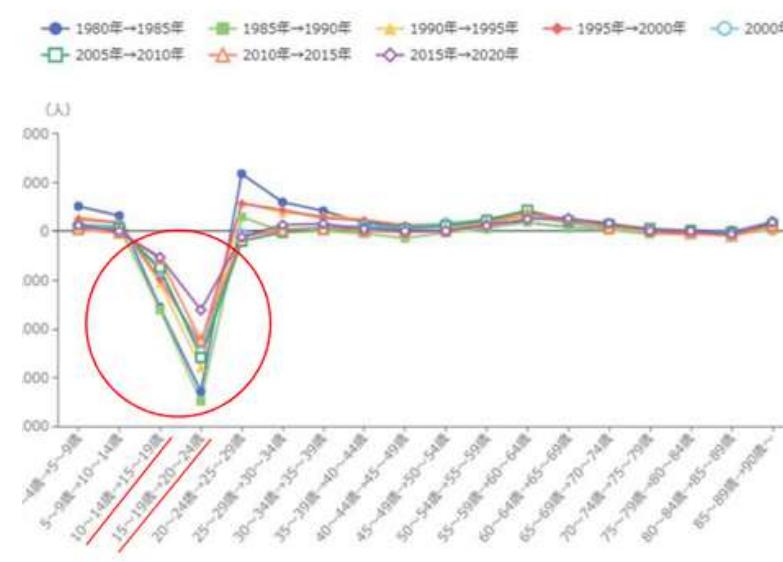
鹿児島県では、高校卒業生の県外就職率が全国と比べて高くなる傾向が見られます。

### 鹿児島県公式サイト

また、地方都市である薩摩川内市では、若年層（30代以下）で年間 611 人の転出超過が報告され、地域から若い人材が出ていく流れが明確になっています。RESAS Portal  
鹿児島市でも、20代の若者が県外に転出する傾向が確認されており、県外の大都市や他県に就職や進学による流出が強い構図があります。

### 鹿児島市公式ウェブサイト

年齢階級別純移動数の時系列分析  
鹿児島県



## 回答件数

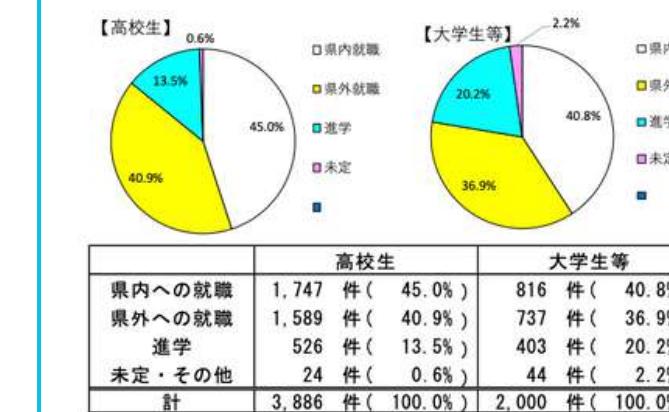
2,188 件

高校生 その他  
969 人 1219 人  
44.3 % 55.7 %

## 若者の気持ち

鹿児島県が実施した「若年層等の県内定着に関する意識調査」や、鹿児島市による高校生から39歳以下を対象としたアンケートでは、「鹿児島が好き」「住み続けたい」「将来戻りたい」と回答する若者が一定数存在することが確認されており、若年層の中に地元定着・地域関与への潜在的意向があることが示されています。

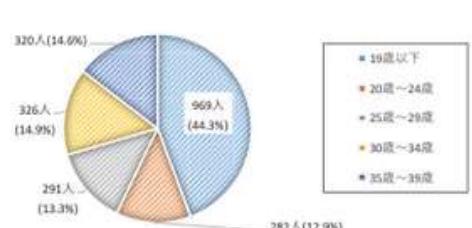
参考文献：鹿児島県公式サイト + 2Bodik Data + 2鹿児島市公式ウェブサイト



回答件数：2,188 件

### 年齢

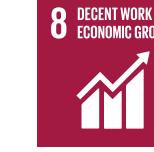
項目	人數	割合
19歳以下	969	44.3
20歳～24歳	282	12.9
25歳～29歳	291	13.3
30歳～34歳	326	14.9
35歳～39歳	320	14.6
合計	2,188	100.0



# サービス構想

私たちは、この“出会いの欠落”を解決するために若者と生産者をマッチングするプラットフォーム「TsunaGreen」を開発しました。登録した若者は、地域・分野・想いに応じて生産者を見つけられ、生産者も自分の想い・仕事・求める人材を発信できます。マッチング後は、見学・研修・共同企画へとつながり、“引き継ぐ”ではなく、“共に作る”新しい関係が生まれます。TsunaGreenを通じて、鹿児島に再び「想いの循環」が戻ってきます。

## サービスの構想

サービスの主な根幹部分	活動ビジョン	達成できるSDGS	期待できる鹿児島への効果
<p><b>想いをつなぐ</b></p> <p>生産者と若者を 結び地域に 新しい出会いを生む。</p>	<p>誰もが地域と自然に つながれる社会へ</p> <p>生産者の孤立を ゼロにする</p> <p>“やりたい”が挑戦 に変わる環境づくり</p>	   	<p>若者の地域定着率が向上 進学・就職での転出超過が 抑制される可能性。</p> <p>生産者の孤立感が大幅に減少 相談先や協力者が増えることで 精神的負担が軽減。</p> <p>地域×若者の新プロジェクト創出数の増加 農業体験・短期研修・共同企画などが 毎年数十件生まれる。</p> <p><b>5~10%</b></p> <p>若者の「関係人口」が確実に増える 若年層の転出が続く中で、地域と接点を持つ機会が増えると、 完全な地域離れを防ぎ、緩やかなつながりを維持しやすくなる。</p> <p>移住希望者が地域を検討しやすくなる 生産者と直接話す機会が生まれ、 移住判断の材料が増える。</p> <p>小規模農家の販路拡大につながる場合がある 広報や販売支援が加わることで、 取り扱える領域が広がる可能性がある。</p>
<p><b>技術を未来へ</b></p> <p>AIで最適マッチングし 技術と文化の 継承を支える。</p>	<p>鹿児島の技術・文化 を次世代へ継承する</p> <p>AIが継承のミスマッチ をなくす未来へ</p> <p>継承が“義務”ではなく “共創”になる世界</p>	   	<p>高齢生産者が無理なく継続できる環境が生まれる 指導する相手ができることで、引退時期を柔軟に調整しやすくなる。</p> <p>廃業寸前の農家が再建を検討しやすくなる 若者の企画支援や販路補助により、事業継続の 判断材料が増えることが考えられる。</p> <p>技術の断絶が減る可能性がある 教える相手が見つかれば、廃業による技術喪失が減ることが期待される。</p> <p>若者の一次産業参入が増える可能性がある 短期的な関わりをきっかけに、継続的な参入につながるケースが想定される。</p>
<p><b>地域を元気に</b></p> <p>後継者不足を 解消し地域の 活力と経済を守る仕組み。</p>	<p>地域で経済が循環す る仕組みをつくる</p> <p>廃業ゼロの地域を めざす</p>	    	<p>地域に小規模な仕事が生まれる場合がある 補助的な作業や企画支援など、新しい働き方が 発生し得る。</p> <p>食の供給力が維持される場合がある 担い手不足による急激な生産減少を抑え、供給 の安定につながる可能性がある。</p> <p>遊休農地や施設の活用が進む可能性がある 担い手が関わることで、放置されていた土地や 設備が利用されることがある。</p> <p>地域内の協力関係が増える可能性がある 若者・生産者・地域が連携し、活動の幅が 広がることが期待される。</p>



# 安全性と信頼性

## 01 不正アカウントを防ぐ「多要素認証（MFA）」の採用

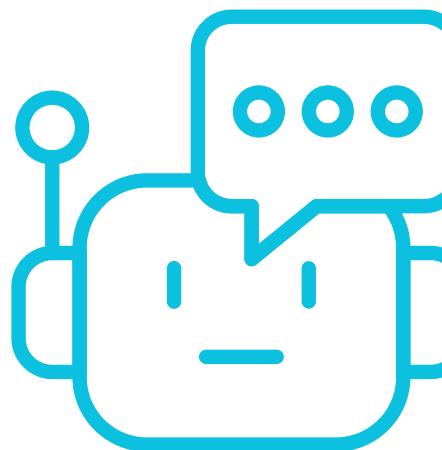
SMS認証・メール認証・端末認証の3つを組み合わせる多要素認証を導入することで、単一の情報（電話番号やパスワード）だけではログインできない仕組みを構築します。複数アカウントの大量作成や、他人の端末を使ったなりすましは極めて困難になり、実質的に銀行・大手SNS・決済サービスで採用されているのと同等レベルの防御力が実現します。また利用者が端末変更を行った際も、追加認証が自動的に求められるため、本人以外が不正にログインするリスクを大幅に低下させられます。



※IT用語辞典からの引用

## 03 不正行為を検知する「行動分析AI・Bot対策」

ログインや操作のパターンをリアルタイムで解析する行動分析AIを組み込み、Botによる大量アクセス・高速操作・不自然な連続動作などを自動的に検知します。異常が確認された場合は、即時にアカウントを制限またはロックし、被害を未然に防ぎます。多くの大手マッチングアプリやECサイトで採用されている高度な仕組みで、利用者の信頼を大きく損なう不正利用を根本から封じます。



## 02 データ保護のための「データ暗号化（AES / TLS）」

アプリ内で扱うすべてのデータは、保存時にAES256による高度な暗号化を行い、通信時にはTLS1.3によって外部からの盗聴や改ざんを防ぎます。これは政府機関や金融システムでも使われるレベルの暗号化方式で、万が一通信経路が狙われても内容を解析されることはありません。利用者は安心して情報を登録でき、データの安全性に対する不安を最小限に抑えられます。



※IT用語辞典からの引用

## 04 公的データベース連携による「本人確認（eKYC）」

生産者や事業者には、顔認証と身分証チェック、公的データベース照合を組み合わせたeKYCを導入し、本人であることを高精度に確認します。これにより匿名性の高い不正アカウントが紛れ込むリスクを大幅に減らし、利用者同士が安心してやりとりできる基盤をつくります。また、信頼度の高い取引やマッチングが実現し、地域の事業者や若者にとってもプラットフォームの信頼性が飛躍的に向上します。



※IMPRESS Watchからの引用

## 導入期間

# 地域の未来を三年間で形にする

## 成長プロジェクト

この三年間で、価値観を軸に人と技術をつなぐ基盤を整え、まず鹿児島で成功モデルを確立します。次に九州全体へ展開し、全国の生産者や若者へ広げることで、後継者不足や特産品消失といった地域課題を継承と循環の仕組みで解決する、持続可能な産業モデルを育てていきます。



START  
2026/06

2026/09  
開発

2026/12  
テスト

リリース



2027年二年目  
売上高（予想）

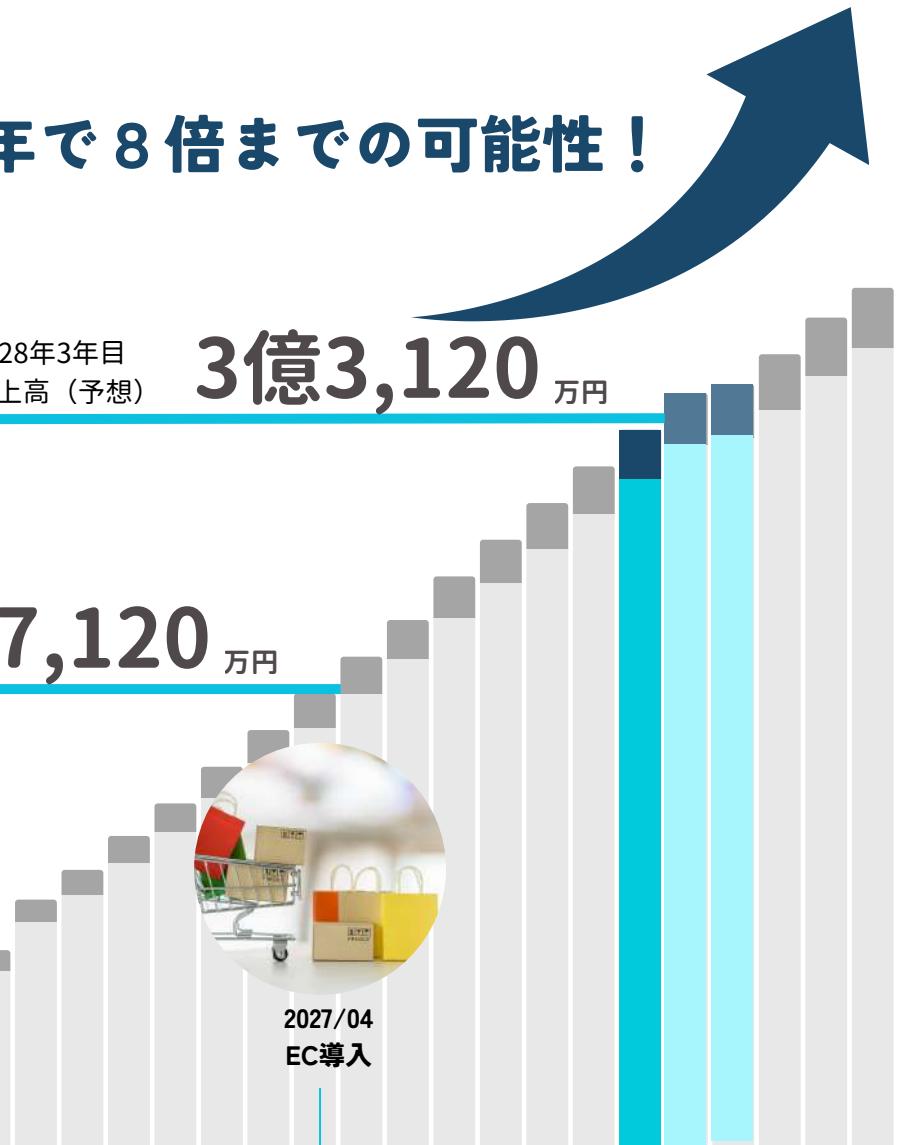
1億7,120 万円

2026年一年目  
売上高（予想）

4,080 万円

2027/04  
新機能

EC導入



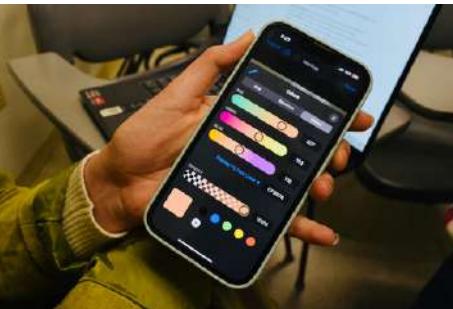
CHANGE 01

未来を形にする開発が  
ここから動き出す



CHANGE 02

実際に試し、  
精度と使いやすさを磨く期間



CHANGE 03

いよいよ本番。  
価値がユーザーに届き始める瞬間



CHANGE 04

可能性を広げ、  
サービスが次の段階へ進化する



### BtoBtoCの収益モデル

◆ 生産者 月額課金

1,980円／月

◆ マッチング成立手数料

5,000円／件

(1事業者あたり月1件成立する計算)

◆ EC販売手数料

1事業者あたり月1万円の流通 → 10% = 1,000円

→ つまり、

1事業者あたりの1ヶ月の平均売上：

1,980円 + 5,000円 + 1,000円 = 7,980円

### 3年間のスケジュール

2026/04～2026/06

- 2026/04 主要機能と目的を確定する
- 2026/04 ユーザーフロー（生産者／若者）を整理する
- 2026/04 AI診断ロジックの基本案を作る
- 2026/05 画面一覧（必要ページ）をすべて洗い出す
- 2026/05 ワイヤーフレーム（画面の骨組み）を作る
- 2026/05 デザイン方向性（色・キャラ・雰囲気）を決定
- 2026/06 技術選定（アプリ・AI・サーバー）を決める
- 2026/06 開発環境を構築する
- 2026/06 基礎機能（ログイン・登録）を実装開始

2026/07～2026/09

- 2026/07 MBTI風アンケートの実装を行う
- 2026/07 回答処理・集計ロジックを作成する
- 2026/07 AI診断モデルの初期版を組み込む
- 2026/08 マッチングスコアの組み完成させる
- 2026/08 生産者側の募集・希望条件画面を作成させる
- 2026/08 若者側の診断結果→おすすめ一覧の画面を作る
- 2026/09 チャット・見学申込の導線を整える
- 2026/09 AIマッチング精度の調整を行う
- 2026/09 全機能のつなぎ込みを行う

2026/10～2026/12

- 2026/10 全画面のUIを微調整する
- 2026/10 動作速度の改善を行う
- 2026/11 セキュリティ機能（暗号化・認証）を実装する
- 2026/11 内部テスト（10～30人規模）を実施する
- 2026/12 App Store/Google Playに提出する
- 2026/12 公式リリース準備（PR素材・紹介文）を整える
- 2026/12 鹿児島向け先行リリースを実施する

2027/01～2027/12

- 2027/01 初期利用者のデータを分析する
- 2027/01 マッチング精度を再調整する
- 2027/02 生産者数の拡大（鹿児島→九州）を開始する
- 2027/03 生産者サポート機能を強化する
- 2027/04 EC第一版（特産品販売）をリリースする
- 2027/05 EC決済と在庫管理を整備する
- 2027/07 自治体・JAとの連携を始める
- 2027/09 学習型AIによる提案強化開始
- 2027/12 九州広域版として展開する

2027/01～2027/12

- 2027/01 初期利用者のデータを分析する
- 2027/01 マッチング精度を再調整する
- 2027/02 生産者数の拡大（鹿児島→九州）を開始する
- 2027/03 生産者サポート機能を強化する
- 2027/04 EC第一版（特産品販売）をリリースする
- 2027/05 EC決済と在庫管理を整備する
- 2027/07 自治体・JAとの連携を始める
- 2027/09 学習型AIによる提案強化開始
- 2027/12 九州広域版として展開する

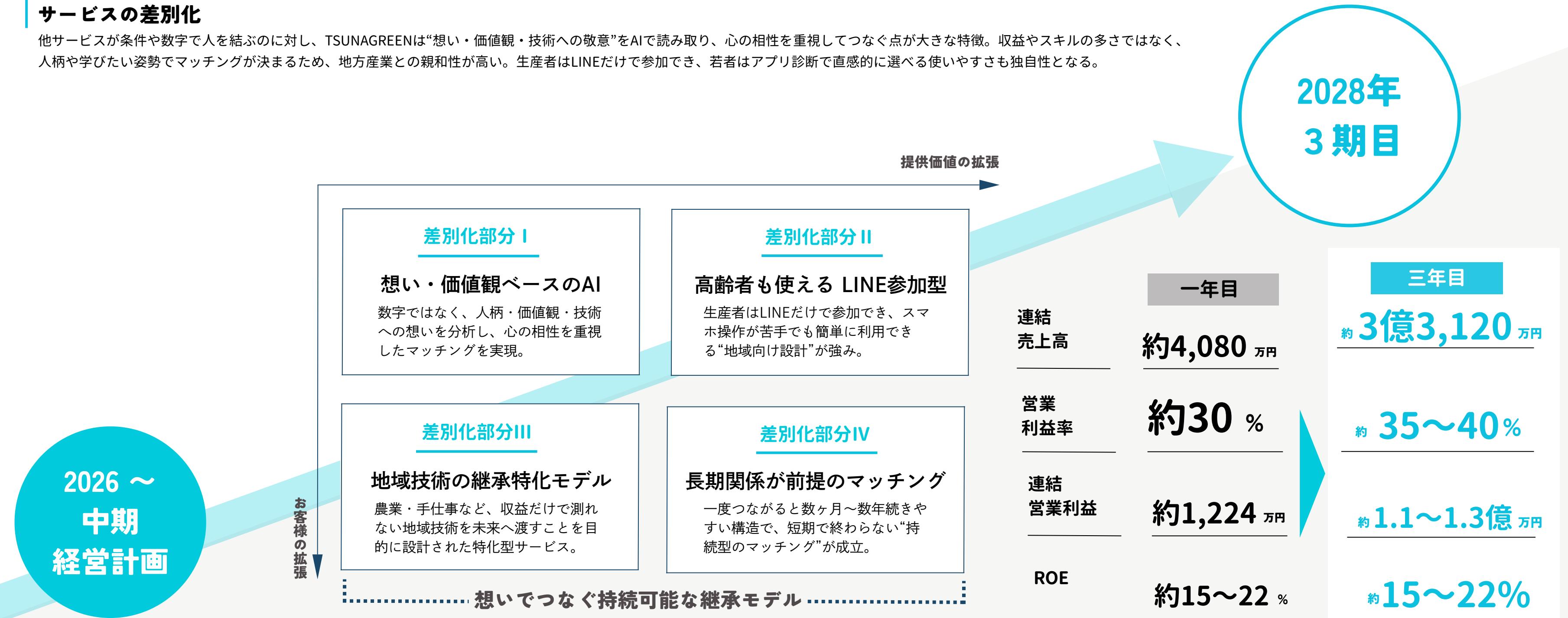
# 成長計画

## 成長計画の裏付け

TSUNAGREENは、利用者数より“相性の質”で成長するモデルを採用している。AIが数字ではなく、生産者の想い・価値観・技術への姿勢を分析するため、地方でも深いマッチングが成立しやすい。一度つながると関係が長期化し、利用が自然に積み上がる構造となる。高齢者はLINEで簡単に参加でき、若者はアプリで価値観診断から選べるため、地域に根付きながら着実に成長できる。

## サービスの差別化

他サービスが条件や数字で人を結ぶのに対し、TSUNAGREENは“想い・価値観・技術への敬意”をAIで読み取り、心の相性を重視してつなぐ点が大きな特徴。収益やスキルの多さではなく、人柄や学びたい姿勢でマッチングが決まるため、地方産業との親和性が高い。生産者はLINEだけで参加でき、若者はアプリ診断で直感的に選べる使いやすさも独自性となる。



# — 思い描く未来の姿 —

思い描く未来の姿

## 想いでつなぐ、地域の未来。

高齢生産者の知恵と若者の意欲を価値観ベースで結び、  
地域の技術を循環させる継承システム。

誰もが参加しやすい設計で、  
持続的な地域づくりを支えるサステナブルな基盤をつくります。

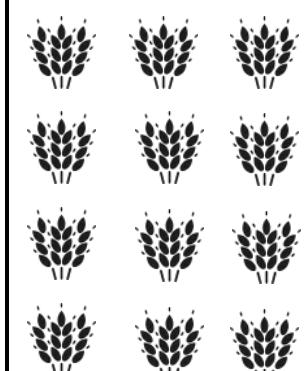


### こんな未来ならいいな鹿児島。

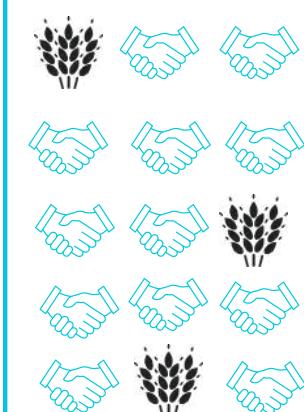
高齢生産者の知恵と、若者の意欲を価値観ベースで結び、地域の技術やノウハウを循環させていく継承システムです。誰もが参加しやすい設計で、持続的な地域づくりを支えるサステナブルな基盤をつくります。私たちが目指す鹿児島の未来は、世代を超えて「想い」と「技術」が自然につながり、地域の価値が次の世代へ受け継がれていく社会です。数字や条件だけで人をつなぐのではなく、人が大切にしてきた価値観を軸に、高齢者の知恵と若者の意欲が結びつき、地域産業と経済が持続的に循環する鹿児島を実現したいと考えています

### 三十年後の鹿児島

休廃業 564 件  
余儀なく廃業になる企業



休廃業 20 件  
余儀なく廃業になる企業



### 幅広いSDGsの達成

価値観を軸に人と産業をつなぎ、後継者不足や技術喪失に対応することで地域産業・教育環境の好循環を生み出し複数のSDGs目標の達成に貢献します。

**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**